





議長	局長	次長	係長	係
				

第 2 号	受 付
令和 6 年 2 月 13 日	
陳 情	

令和 6 年 2 月 13 日

阿久根市議会

議長 仮屋園一徳 殿

鹿児島県阿久根市

社会人のひきこもりを支援する会

代表 西田 敦 市

ひきこもりに関する支援策の陳情書

(陳情の趣旨)

昨年、鹿児島県が初めてひきこもりの実態調査で、15歳から64歳までのひきこもり状態にある方々の人数を、916人と発表しました。この数字は氷山の一角であり、実際には3倍から5倍以上と推定されます。

北薩地区3市2町、出水市・阿久根市・薩摩川内市、長島町、さつま町ではひきこもり状態にある方は171人と聞いています。ただ県は実態調査は行ったがその対策の方向性を示していません。

そこで支援策として広域的に考え、就労支援や自立支援として、ひきこもり状態にある方々の居場所づくり事業として行政主導で施設を開設することを要望します。

まずは各自治体で軽度のひきこもり状態の方々の一人ひとりに寄り添い、個人に合った支援に取り組み、外出ができるようになることを目指します。次に仕事をしたいと意欲がある方々に手に職・スキルを身につけさせるための居場所づくりが必要になってきます。

広域的なモデルケースとして、具体的には北薩地域の中心にある自然豊かな阿久根市の田代小学校(休校中)を利用して就労支援や自立支援を行ってはどうかと考えています。

以上のようにひきこもり状態にある方々やそのご家族にとって、居場所があることは孤立しがちな生活を改善する一番の方法だと考えます。社会復帰の支援策として居場所づくりの施設の設置を要望し、下記の事項を陳情します。

(陳情項目)

- 1. ひきこもり状態にある方々の支援に取り組むこと**
- 2. ひきこもり状態のある方々の居場所づくりとして、休校を活用して田代小学校で就労支援や自立支援の事業をおこなうこと**